



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場会社名 日本精鉱株式会社
 コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 渡邊 理史
 (氏名) 渡邊 繁樹
 配当支払開始予定日

TEL 03-3235-0021
 平成28年12月5日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,357	△17.2	385	△14.0	335	△23.0	232	△17.9
28年3月期第2四半期	6,469	△1.4	447	△2.9	436	△4.1	282	△2.0

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 217百万円 (△22.4%) 28年3月期第2四半期 280百万円 (△4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.01	—
28年3月期第2四半期	23.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,303	5,369	52.1
28年3月期	10,257	5,213	50.8

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 5,369百万円 28年3月期 5,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△11.0	630	18.3	590	16.7	400	27.8	32.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	13,029,500 株	28年3月期	13,029,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	817,388 株	28年3月期	816,772 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	12,212,593 株	28年3月期2Q	12,213,801 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、設備投資が円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受け、回復ペースが鈍化している一方、個人消費は、雇用者数の増加、物価上昇率の低下による実質雇用者所得の伸びを背景に持ち直しつつあり、景気全体としては弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、金融政策正常化が注視される米国は景気回復が続いているものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気下振れ懸念、地政学的リスク、英国におけるEU離脱問題など、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比1,112百万円減収（17.2%減収）の5,357百万円、営業利益は同62百万円減益（14.0%減益）の385百万円、経常利益は同100百万円減益（23.0%減益）の335百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同50百万円減益（17.9%減益）の232百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場（ドル建て）は、前年度は4月中旬から5月初旬までトン当たり8,900ドル台のピークを付けた後、主産地である中国での景気減速により内需が低迷し在庫が増加したことから、下げ基調に転じ、昨年12月初旬から本年4月中旬まで5,000ドル台で推移しましたが、中国サプライヤーの生産調整や備蓄の情報などを受け本年4月後半から2,000ドル以上急騰し、第2四半期末では7,800ドル台まで上昇しました。当第2四半期の平均価格はトン当たり6,770ドル台で、前年同期の7,730ドル台に比して、12%強の下落となっており、円ベースでは円高により、24%強の大幅な下落となっております。

同事業の販売状況につきましては、販売数量は、海外向けの増加などの結果、前年同期比244トン増加（7.6%増加）の3,482トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の増加があったものの、原料価格下落に伴う販売価格の低下により前年同期比791百万円減収（23.1%減収）の2,637百万円となりました。セグメント利益は、海外競合会社との価格競争激化などの影響により、同53百万円減益（74.9%減益）の17百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は当第2四半期平均で、トン当たり544,300円となり、前年同期比26.2%の大幅な下落となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、スマートフォン関連需要に加え、軟磁性材向けの販売も堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比89トン増加（18.4%増加）の574トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉につきましては、主用途である自動車部品向けが、国内新車販売台数の500万台割れや自動車燃費不正問題の影響もあり、軟調となっており、販売数量は前年同期比87トン減少（9.7%減少）の816トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比2トン増加（0.1%増加）の1,390トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、原料銅価格下落の影響などにより、前年同期比322百万円減収（10.6%減収）の2,708百万円となりました。セグメント利益は、研究開発費他の販売費及び一般管理費の増加があり、同9百万円減益（2.7%減益）の352百万円となりました。

[その他]

当第2四半期不動産賃貸事業の売上高は11百万円（前年同期比16.4%増収）、セグメント利益は11百万円（前年同期比20.4%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,965百万円となり、前連結会計年度末と比べ67百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が58百万円、商品および製品が134百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が148百万円、原材料及び貯蔵品が138百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,337百万円となり前連結会計年度末に比べ21百万円の減少となりました。

この結果、総資産は、10,303百万円となり、前連結会計年度末と比べ45百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,523百万円となり、前連結会計年度末と比べ129百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が231百万円、未払法人税等が40百万円増加したものの、短期借入金が290百万円、その他が107百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,410百万円となり前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、4,933百万円となり、前連結会計年度末と比べ110百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,369百万円となり、前連結会計年度末と比べ156百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により232百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.1%（前連結会計年度末は50.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結及び個別の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,563,260	2,504,966
受取手形及び売掛金	1,465,015	1,613,908
商品及び製品	1,037,012	902,375
仕掛品	194,650	202,415
原材料及び貯蔵品	512,114	651,019
その他	130,246	95,832
貸倒引当金	△4,442	△4,932
流動資産合計	5,897,856	5,965,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,534,334	1,485,489
機械装置及び運搬具（純額）	751,712	764,396
土地	1,478,590	1,478,590
その他（純額）	121,515	148,658
有形固定資産合計	3,886,153	3,877,135
無形固定資産	52,279	48,731
投資その他の資産	421,312	411,911
固定資産合計	4,359,745	4,337,778
繰延資産	77	—
資産合計	10,257,680	10,303,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	618,375	850,218
電子記録債務	290,612	293,172
短期借入金	2,082,000	1,792,000
未払法人税等	83,257	123,994
賞与引当金	103,783	96,497
その他	474,486	367,365
流動負債合計	3,652,515	3,523,247
固定負債		
長期借入金	960,000	989,000
退職給付に係る負債	312,755	303,473
資産除去債務	35,571	35,725
その他	83,393	82,176
固定負債合計	1,391,720	1,410,375
負債合計	5,044,235	4,933,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	3,772,716	3,943,792
自己株式	△148,476	△148,704
株主資本合計	5,207,092	5,377,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,702	△8,616
為替換算調整勘定	11,054	416
その他の包括利益累計額合計	6,352	△8,200
純資産合計	5,213,444	5,369,739
負債純資産合計	10,257,680	10,303,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,469,507	5,357,277
売上原価	5,559,026	4,496,833
売上総利益	910,481	860,443
販売費及び一般管理費	462,645	475,132
営業利益	447,835	385,311
営業外収益		
受取配当金	1,587	1,654
為替差益	4,300	—
その他	6,358	3,304
営業外収益合計	12,245	4,958
営業外費用		
支払利息	16,393	11,654
為替差損	—	32,518
その他	7,282	10,265
営業外費用合計	23,676	54,438
経常利益	436,405	335,831
特別利益		
固定資産売却益	—	2,999
特別利益合計	—	2,999
特別損失		
固定資産除却損	5,880	545
特別損失合計	5,880	545
税金等調整前四半期純利益	430,524	338,285
法人税、住民税及び事業税	142,691	108,096
法人税等調整額	5,232	△1,951
法人税等合計	147,924	106,145
四半期純利益	282,599	232,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,599	232,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	282,599	232,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,682	△3,914
為替換算調整勘定	1,517	△10,637
その他の包括利益合計	△2,165	△14,552
四半期包括利益	280,434	217,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,434	217,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,428,624	3,030,941	6,459,565	9,942	6,469,507	—	6,469,507
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	19,604	19,604	—	19,604	△19,604	—
計	3,428,624	3,050,545	6,479,170	9,942	6,489,112	△19,604	6,469,507
セグメント利益	71,415	362,073	433,489	9,463	442,952	4,882	447,835

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額4,882千円はセグメント間取引の消去4,882千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,637,069	2,708,634	5,345,704	11,572	5,357,277	—	5,357,277
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	99	24,443	24,543	—	24,543	△24,543	—
計	2,637,169	2,733,078	5,370,247	11,572	5,381,820	△24,543	5,357,277
セグメント利益	17,929	352,471	370,400	11,389	381,790	3,520	385,311

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額3,520千円はセグメント間取引の消去3,520千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。